

第12回 死因究明教育研究センターセミナー



演題: 安全なお産のために

妊産婦死亡症例登録事業における剖検の役割

演者: 若狭 朋子先生

御所属・職: 近畿大学奈良病院病理診断科・准教授

座長: 田中 伸哉 先生(腫瘍病理学教室・教授、死因究明教育研究センター)

とき: 2020年12月3日(木曜日) 18:00-19:00

会場: WEB (Zoom) による開催 (ご視聴の際は、カメラオフ、ミュートをお願いします。)

対象者: 医師、学生、医療関係者、他

1985年以降、日本の周産期死亡率は世界で最も少なくなったが、日本の妊産婦死亡率は未だ、西欧諸国の後塵を拝している。妊産婦死亡を減らすためには、原因を正確に把握する必要がある。このため、我々は2010年、「妊産婦死亡剖検マニュアル」を作製し配布、公開した。同時に日本病理学会秋期大会に合わせてコンパニオンミーティングとして妊産婦死亡症例病理検討会を開催し、症例を共有を通して、解剖技術の伝達と産科病理についての知識の普及を図ってきた。

妊産婦死亡をゼロにすることを目標にこれまで行ってきた我々の活動を報告し、異常分娩、羊水塞栓症の病態、検索のポイントについて解説する。

お申込みは下記URLのGoogle Formへのご登録をお願い致します。メール自動返信により、Zoom招待状が配信されます。

<https://forms.gle/ZTpqwWZiob53E5oHA>

皆様のご参加を
お待ちしております。

お問い合わせ先:

北海道大学大学院医学研究院

死因究明教育研究センター

担当: 田中 敏

TEL: 011-706-5050

(分子病理につながります)

Mail address: cdicenter.28@med.hokudai.ac.jp